



大月町
議会だより

第123号

12月定例会

令和8年2月1日発行 高知県大月町議会

意識改革 組織改革

議場で 担当課長が 答弁

議会は、全員協議会の結果、一般質問の答弁について行政改革をするよう町長に要請しました。その結果、町長は、2025年12月議会から、本会議場での一般質問の答弁の仕方を変えました。事務的、技術的な問題は担当課長が答弁し、政策的なものや最終答弁は町長が行うことにしました。そのために、町長、副町長、課長のより一層の意識共有をすることにしたのです。

一般質問で「課長が答弁することの意義」を整理すると、深い行政運営上の意味があります。単なる「代読」ではなく、組織運営・責任構造・政策形成のあり方そのものに関わる改革となるからです。

その意義について説明します。

表紙によせて



製作者 ひろひこ 山岡浩彦さん（姫ノ井）

タイトル 彫刻のある部屋

製作者のことば

油絵を始めて4年半くらいです。もったいいい作品が描けるようになればいいと思っています。

課長答弁の意義

観 点	意 義
専門性	<ul style="list-style-type: none"> 「政策の方向性は町長、制度の具体は課長」という役割分担が明確になる。 担当課長は、制度・予算・現場の実態を最も正確に把握しているので、より具体的な答弁ができる。
組織性	<ul style="list-style-type: none"> 町政は町長だけではなく、組織全体で運営していることや、組織の自律性・専門性をアピールでき、行政の信頼につながる。
政治性	<ul style="list-style-type: none"> 課長が答弁することで、「担当部局が責任を持って政策を遂行している」という姿勢を議会と住民に示せる。
現場性	<ul style="list-style-type: none"> 町長答弁だけでは抽象化されがちな部分が多く、現場を知る課長が議場で説明することで、現場の課題・住民の声・制度運用のリアルが議会に直接伝わる。
組織育成	<ul style="list-style-type: none"> 課長が議会で説明責任を果たす経験は、行政組織の力量を高める。 若手職員にとっても、課長の答弁姿勢は学びのモデルになり組織の持続可能性を高める。

みんなの 広 場



長谷部 熙之ひろゆき
(橋浦)

知らなかったで
損する未来をなくしたい

海と魚が大好きで、日本でもトップクラスの
水質と環境を誇る大月町へ移住しました。
東京では医療系国家資格を活かし、足病医学
と呼ばれる下肢に特化した学問を、日本の医
療従事者の方々へ累計5000人以上に広げ
てきました。

現在は、柏島で創業30年を誇るはやぶさ水
産で真鯛の養殖事業に携わり、新しい養殖会
社のカタチを目指して、販路拡大や新事業の
立ち上げに取り組んでいます。私の理念は「知
らなかつたで損する人を減らしたい」。大月
町に在住されている先輩の皆様が育んできた
人情や歴史、文化に触れながら、「知らなか
つたで損する機会」を減らし、「知れて良か
った!」と思えるような、情報・環境・人材・
繋がりを創設する一翼を担えたら嬉しいです。
見かけたらぜひ、声をかけてください!

12月 定例会

期 間：12月11日～17日

提出議案：補正予算9件、条例15件
その他2件

報 告 等：報告3件、委員会報告1件
陳情3件

すべて
可決

12月補正予算

	補正額	補正後の予算額
一般会計予算	9793万円	58億 706万円
特別会計	特別養護老人ホーム	297万円
	国民健康保険	192万円
	介護保険	△1340万円
	後期高齢者医療	43万円
	給与等集中処理	△2261万円
		3億7403万円
		7億5400万円
		9億 373万円
		1億1265万円
		8億9249万円

一般会計補正 主な取り組み

款	主な取り組み	金額
土木費	緊急自然災害防止事業	6970万円
総務費	庁舎駐車場整備工事	130万円
	電気契約違約金	200万円
	移住定住希望者住宅改修事業費補助金	250万円

事業会計	収益的収支補正額		資本的収支補正額	
	収入	支出	収入	支出
大月病院	0円	1500万円	0円	0円
大月町簡易水道	675万円	675万円	0円	10万円
大月町漁業集落排水処理	68万円	68万円	0円	0円

一般会計補正予算の主な取り組みについて、質問と答弁を報告します。



質疑

緊急自然災害防止

問 田代川河川の改修6970万円に町債をあてる理由は。

答 大月町内の町管理河川は、河川法に準じる河川ではないので、国の補助金等を活用することができません。今回利用した緊急自然災害防止事業債は、元利償還に対して70%の交付税措置があります。

庁舎駐車場整備工事

問 駐車場は庁舎北側に整備することだが、誰の土地で、何台が、誰の土地で、何台駐車でき、どう整備するのか。

答 借地です。新たに18台駐車できる予定で、石はねしないプライムコート等の処理をして、

駐車場の整備を進めたかと考えています。

国立病院機構四国がんセンター等の実績もあり、契約しました。

電気契約違約金

問 解約違約金は変更先会社から補填されるそうだが、契約変更のメリットは。

答 四国電力から日本エネルギーファームに切り替えると450万円程度の削減を見込んでいます。本州四国連絡高速道路株式会社、

移住定住希望者住宅改修事業費補助金

問 7年度は10戸近くが希望されていると理解しているか。

答 そのとおりです。現在5か所、見込まれるものが追加で5か所、計10か所を予定しています。



改修が進む田代川

長寿政策課廃止

の是非を問う

長寿政策課を廃止し、その業務を本庁の住民課、健康福祉課に分担させる「大月町課設置条例の一部を改正する条例」の提案について、反対・賛成の討論がありました。

賛成

谷 中田 依岡 松田 笹木 新谷 安岡(利)

検討されてきた結果

谷議員 この機構改革というのはもう数年に渡って行ってこられた改革です。町民の利便性が一番先にあつたものと考えています。人口は減りますが、でも役場の職員の仕事は、量は減つても、町民が減るうが同じことです。

もう一つ、提案は、全員協議会の説明で私は十分であつたと考えています。とにかく住民サービスを怠らぬように、将来は職員も減っていくでしょう。それに向けて、機構改革というのは続けていかれるものと考えています。

長期的視点で必要

中田議員 人員の問題とか、人口減少の問題とか、そういったものを長期的に見たときには、段階を経て、機構改革というのは必要なんじゃないか。住民サービスがおろそかになるところは、職員が全力でカバーしていくところを踏まえると、そこだけ見れば確かに住民がちょっと不便さを感じるところは生じるかもしれないけど、総合的に見れば、必要なことじゃないかと思えます。

※議場での発言内容を重視し、
ほぼ原文そのまま掲載しています。



反対

米谷 浦木

病院・社協との連携が大事

米谷議員 機構改革を進めていただくのは非常に良いと思います。町民に寄り添つた形で、窓口を一本化するという1つの大きなポイントはあるかもしれない。けれども、本場にちよつとした不安材料、ちよつとした質問、ちよつとした解決策を求めたときに、そつとそばにいるのが長寿政策課の立ち位置だと思えます。大きな、事務的な部分に関しては、本庁に移ろうが良いと思うのですけれども、高齢者の方に寄り添つた形の業務をする中で、病院と、社協と、しっかりと連携を取る、そこが一番長寿政策課の大事なポイントだと思つていますので、今回の統合云々に関しては、もう一度、町民の立場に立つた形のメリット、ここを最優先事項として、今一度考え直していただきたいと思えます。

見通しの甘さがある

浦木議員 1つ目は、3年前に長寿政策課を作つたばかり。何の反省もなく課を廃止するのは、見通しの甘さがある。

2つ目、長寿政策課の目的、高齢者を大切にすまちづくりが弱まる危険性がある。

3つ目、住民は大月病院から本庁へ動く方も多く、住民にとって不便になる可能性も高い。

4つ目、議員に課設置の説明があつたが、口頭説明だけで内容の説明がほとんどない。不誠実な態度である。

以上の理由で、もう一度仕切り直し、再提案を求めるために反対します。

値上げ案受け入れる

議会は、全員協議会をもって行政の説明を聞き、本会議で以下の条例を可決し値上げを了承しました。

◆水道

○大月町簡易水道条例の一部を改正する条例

◆ごみ

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

◆下水道

○大月町漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

いずれの条例も、令和8年4月1日から施行されます。

生活インフラ、どうにか守る

現状と値上げの理由

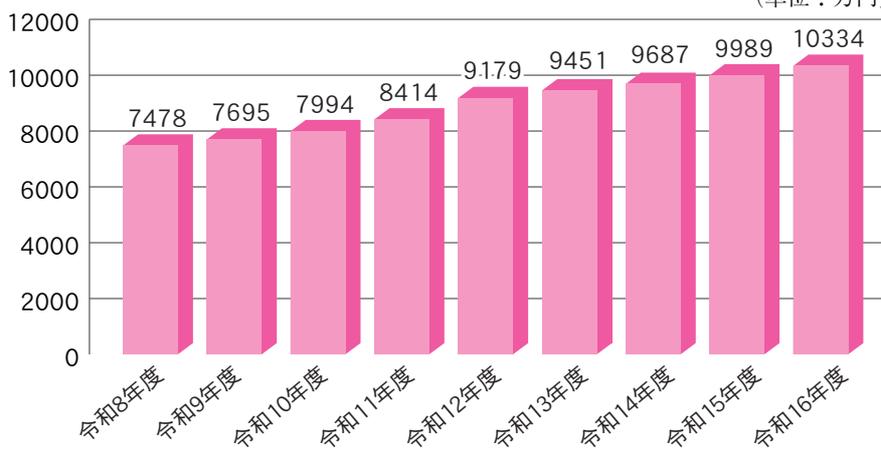
なぜ、値上げなのか。

下のグラフ（水道基準外繰入金予想（単位：万円））で示しているように、繰入金は年々膨らみ、令和16年度には1億円を超え町財政が圧迫されると予想されます。そのため、今回2000万円くらい解消を図るための値上げです。

水道

水道基準外繰入金予想

（単位：万円）



【基準外繰入金とは】

収入を費用にあてても不足する金額を、町の予算で補った繰入金のことです。

基本料金は

税込み1700円に

・3年に1度、水道審議会で審議しています。



水道・ごみ・下水道

ごみ価格表(税込み)

種類	サイズ等	改正前料金	改正後料金
可燃物 専用ごみ袋 (乳白色)	大(45L) 20枚入り	1200円	1600円
	小(30L) 20枚入り	800円	1200円
分別収集 専用ごみ袋 (透明)	大(45L) 20枚入り	900円	1200円
	小(30L) 20枚入り	600円	800円
	極小(15L) 10枚入り	200円	300円
粗大ごみ	証票5枚綴	300円	400円
持込ごみ (粗大ごみ)	10kg	60円	80円

ごみ処理費用及び施設
維持修繕費用の増加に
よる料金改定。

※令和6年度から
新たに追加

※令和7年度から
新たに追加

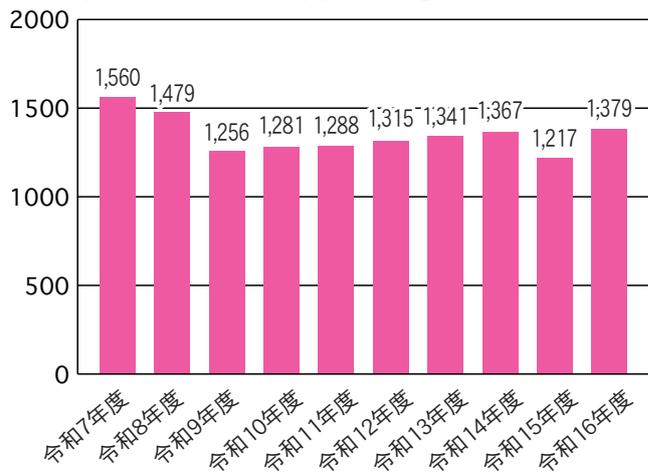
ご
み

下水道改定料金(税込み)

用途	基本料金 10㎡	超過料金 1㎡につき	
家庭用	1730円	11~20㎡	120円
		21~50㎡	150円
		51㎡以上	200円

※世帯人数による水洗
化料金を廃止し、基
本料金と超過料金の
二部料金制に変更。

下水道基準外繰入金予想(単位:万円)



下
水
道



- ▼ 本町職員が運転する公用車と一般車両が衝突し、車両を破損させたため、損害賠償金34万6196円を支払う。
- ▼ 本町職員が草刈り作業時、隣地のエアコン室外機を破損させたため、損害賠償金13万6070円を支払う。
- ▼ 消防公用車が建物に接触し破損させたため、損害賠償金15万700円を支払う。

報
告
専
決
処
分

町長・副町長減給議案

職員の固定資産税の課税誤り、施設利用料の不適切な事務処理などがあつたため、職員を戒告・訓告・嚴重注意とし、令和8年1月1日から町長給与を3か月間・100分の20を減給、副町長給与を1か月間・100分の10を減給する条例議案を提出しました。

町長は、こうしたことが起こった共通の原因として、任せた側の職員の責任、それを受けた側の職員の責任が貫かれていない組織的な問題があつたとし、今後、組織改革、意識改革などの改革を図りながら住民の信頼を回復していきたい、と説明しました。

議会は、こうしたことが絶対あつてはならない、今後の改革に期待するとして可決しました。



大月町役場

条例

◆人事院勧告によるもの

▼ 大月町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▼ 大月町一般職に属する技能職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

◆給与の改定等

▼ 特別職の職員の給料の特例に関する条例

例

● 町長給与100分の20(3か月)、副町長給与100分の10(1か月)減給

▼ 大月町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

● 一般職給与の改定を鑑み、引上げ改定

▼ 大月町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

● 県と同様に期末手当を0.05月引上げ
● 町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部を改正する条例
● 県と同様に期末手当を0.05月引上げ

◆その他

▼ 大月町課設置条例の一部を改正する条例

● 長寿政策課を廃止

▼ 大月町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例

▼ 大月町職員定数条例の一部を改正する条例

● 農業委員会の事務局の兼任職員4名へ災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

P6で解説

▼ 大月町簡易水道条例の一部を改正する条例

▼ 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

▼ 大月町漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

◆新規

▼ 大月町乳児等通園支援事業の整備及び運営に関する基準を定める条例

◆廃止

▼ 大月町簡易水道施設の管理並びに運営に関する事務の一部を地区使用者代表に委託する条例を廃止する条例

そ の 他

- ▼ 緊目債第1号普通河川田代川（馬路1号橋）河川改修工事請負契約の変更
- クレーン搬入の変更等による経費2217万6000円を計上。
- ▼ 四万十市及び宿毛市との定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更
- 食肉センターを核とする畜産振興と雇用の場の維持・拡大を規定。

陳 情

- ▼ mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情
- ▼ 大月町情報公開条例、大月町情報公開条例施行規則の更新を求める陳情
- ▼ 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
- 総務厚生常任委員会へ付託

産業建設常任委員会 結審

地域経済活性化

産業建設常任委員会は、「地域経済活性化」を目標に先進地「道の駅とおわ」を視察し、計5回の会合を開いて以下の提言を提出しました。



道の駅とおわ

提言内容

「道の駅大月」は大月町の経済の中核にあるということ念頭に置き、人口減少や各産業分野の担い手不足に直面している今こそ、持続可能なまちづくりが必要である。よって、今後計画する改修は、今日の活性化に繋げる起爆剤としなければならない。このことを踏まえ下記の提案をする。

- ①交通量から立ち寄り率を算出し、道の駅の規模、売り上げ等の可能性を把握すること。規模や可能性についての根拠のない改修とならぬよう、あらゆる手段を講じて交通量の調査を行うことが必要不可欠である。その交通量から立ち寄り率を算出し、道の駅における集客や売上の可能性を把握した上で改修すること。
- ②購買促進につながる動線とすること。
- ③加工場を精一杯活用すること。
- ④充実した環境に努めること。
- ⑤大月町の歴史・文化・産業・人物を紹介するコーナーを設けること。

議会のあれこれ

議会として束になる

議会の仕事

議会の仕事のひとつに、町長の仕事のチェックがあります。そのためには、議員が束になって「議会」として「町長」に向き合わないと、チェック機能は充実しません。

議員が束になる

議員が束になるためには、何が必要でしょうか。私たちは、議員が共に学ぶことを通して束になろうとしています。

令和6年9月、新しい議員が5名誕生しました。これを機に、「一般質問」の作り方、議場でのやり取りの仕方、「当初予算」の分析、「補正予算」の分析と計4回の学習会を実施してきました。

議員間の距離がぐっと縮まりました。

町民のために

人口減少対策、働く場の確保、福祉の充実、教育対策、観光振興、環境を守るなど大月町には解決しなければならない課題がたくさんあります。町民のために議員が意識改革をして、「議会」としてまとめ、町長に対してチェック機能を強化していきます。



一般質問

今定例会は6名でした。
議員それぞれの、着眼
点の違いに注目です。

米谷 勝市 議員

【生活インフラ】高齢者・免許返納後のインフラ要望

【こども支援】クラブ活動 部費一律化



松田 照代 議員

【道の駅】道の駅は何を大切にすべきか

【防災対策】住民への応急手当の推進を



浦木 秀雄 議員

【ホテル】再建に向けて進捗状況は

【社 協】経営改善の進捗状況は



笹木 章弘 議員

【荒廃地】農地整備事業の進捗は

【国道321号歩道】歩道工事の進捗は



新谷 伸 議員

【命を守る】AEDの設置は

【福 祉】授乳室の設置は



安岡 利治 議員

【産業振興】集落組織自立支援は

【防災対策】防火対策の現状は



生活インフラ

高齢者・免許返納後のインフラ要望

私のところに要望は来っていない／町長



米谷 勝市 議員



問 令和7年1月か
ら10月末までの高
知県警管轄内の運転免
許返納者は1703名。
最高齢は男性で99歳。
警視庁によると令和6
年度は42万7914名
の方が自主返納。人口
動態により年々減って
はきているものの、年
齢層は高止まり。この
社会問題に対し今後、
どのような施策または
検討をしているのか。

答 運転に不安を感
じながら、それで
も必要であるからと運
転を継続する高齢ドラ
イバーの現状を課題と
とらえ、これまで試験
的にデマンドバスの運
行や、まちなかバスの
運行などを行っていま
したが、交通手段の確
保として十分とは言え
ません。自主返納を推
進していくにはまだま
だ課題があり、免許返
納後の安全な交通手段
の確保を、今後もご意
見をいただきながら模
索していきたいと考
えています。

問 事故があつてか
らでは遅い。高齢
者が安全に暮らす上
での交通網として施策を
しっかりと打ち出す考
えはあるか。

答 皆さんの意見を
聞きながら対応し
ていきたいと考えてい
ます。

問 もうすでに町民
は声をあげている
が町長の耳には入って
いないのか。

答 私のところにそ
ういう案件の問い
合わせは来ていません。



部活に励む子どもたち

問 本年3月、国土
交通省から交通空
白解消緊急対策事業に
ついて発表があつた。
交通弱者対策として高
齢者が移動しなくても
安心して暮らせるよう
オンライン診療などの
生活インフラ構築の考
えはあるか。

答 今後担当課と進
め方から協議して
いきたいと考えていま
す。

こども支援
クラブ活動部費一律化
考えていない／教育長

問 金額差が生じて
いるクラブ活動の
部費を一律にするよう
対策や予算組みをする
考えはあるか。

答 学校内において
部活動顧問や保護
者の皆さんで話し合っ
て、各部で決めている
ことです。もちろん学
校への全般的な予算支
援は教育委員会として
精一杯行っています。
金額差が生じているこ
とへの対策や、予算組
みについてですが、こ
れは学校長が学校運営
の中で行うことであり、
教育委員会が細かく予
算組みを行う考えは今
のところありません。

問 生徒数減少に伴
い、部活動を、ど
のように維持してい
くのか。

答 このことは大月
中学校のみならず、
ほとんどの学校が抱え
ている大きな課題です。
しかしながら、この問
題は学校運営上の課題
です。まずは学校長を
中心に、学校内で部活
動をどうしていくのか
を生徒や保護者の意見
を聞きながら、考えて
欲しいと思っています。



松田 照代 議員

道の駅

道の駅は何を大切にすべきか

地域貢献が何より大切／町長



綺麗に整備された公園

問

大月町には昔から伝承されてきた郷土料理がある。しかし、高齢化により、昔から伝承されてきた郷土料理を作る人が少なくなっている。今、消滅危機にあるこの郷土料理を次世代に繋げていくよう、官民一体となった仕組み作りや支援策を講じては。

答 本町の魅力ある郷土料理は次世代に繋げていく必要があると感じているところ。官民一体となった仕組み作りや支援策等につきましては、関係機関とも協議検討し、次世代に繋げていきたいと考えています。

問

道の駅には公園がある。春には桜、冬にはイルミネーションと楽しめる。しかし、その時期にならないと整備されない。地域の多機能拠点の一つとして安心して様々な世代が散策したり遊べる公園として、普段から整備しておくべきと考えるが。

答 大月町ふるさと振興公社が、指定管理者として草刈や除草作業を事業者に委託して行っています。道の駅管理運営は、財政的にも厳しく公園規模も大きいため行き届かない所もあります。観光客を含む様々な世代が集い楽しめる施設として、また来たいと思っただけでなく、ふるさと振興公社とも管理のあり方を協議していきたいと考えています。

問

道の駅リニューアルは様々な制約があると思う。改修する事が目的であってはならない。大月町の道の駅は、何を大切にすべきか町長の想いは。

答 道の駅は大月町の地域産業の核として、地域経済の活性化や地域発展のための地域貢献をしていくことが何より大切なことであると考えます。

防災対策

住民への応急手当の推進を

広報等で

発信していく／町長

問

住民がみずから応急手当、心肺蘇生、止血等を行えるよう備えていくことで、助かる命もある。一つの命を守っていくため、自主防災組織、退職した医療従事者と連携し、地域などで応急手当の訓練を推進していく考えは。

答

現在消防大月分署では、消防団員、役場職員、各地区住民など、様々な分野の方々に応急処置講習等を受けていただいています。重要性を広く周知するため、引き続き広報等で講習についても発信していきます。

問

防災直後、救急隊が到着できない場合の住民や自主防災組織、医療機関との連携は図られているのか。それはどのような仕組みか。

答 連携の仕組みにつきましましては、消防大月分署から各地区消防団に初動対応を要請するといった形となっています。ガイドラインのようなものは現在ありません。



身近な物で代用できる応急手当

地域経済対策

「森の炭香」事業化を 備長炭生産組合と協議・検討／町長



浦木 秀雄 議員



備長炭をさらに価値のあるものに

問 地元産備長炭と天然アロマを活用した森の炭香アロマ炭パックの開発・販売を
目指してはどうか。

答 今後、地域経済対策を進めていく上で非常に参考となるご提案であり、その他にも大月町の誇る土佐備長炭を活用した、本町ならではの商品開発や、その仕組みづくりができないかなど、本提案事業の主となる備長炭生産組合とも協議・検討していきたいと考えています。

ホテル

再建に向けて進捗状況は 最終段階にきている／町長

問 新たな指定管理者の進捗状況はどうなっているか。

答 協議も最終段階にきています。その結果につきましては、年明けにはご報告できるものと考えています。

問 ホテルベルリーフ大月再建のための改善点については、どのように考えるか。

答 エレベーター設置は建物の構造上難しいのではないかと考えています。風呂はそのまま使い、厨房の水回りは必要に応じて検討していきます。

問 わたしの提案したほかの改善点は、運営体制強化、競争力のある商品・サービスの開発、経営マーケティング戦略についての提案につきましては、次期指定管理者において実施されるものでありますので、今回ご提案があったことは次期指定管理者にお伝えさせていただきたいと考えています。

社協

経営改善の進捗状況は 現在は検討中です／町長

問 伴走支援など、経営改善計画の作成の進捗状況はどうなっているか。

答 町が支援を検討していく上で、経営改善計画が必要であることは、社会福祉協議会も認識されていることを確認しています。伴走支援を昨年度やりましたが、思うような効果が出ませんでした。



開業が待たれるベルリーフ大月

今後は税理士や高いノウハウを有した介護保険事業に特化したコンサルに社協の多岐にわたる18事業全体を見ていただくかないと、なかなか経営改善には繋がらないということですので、現在その検討をしています。ともに考えて、改善していきたいというのが、本町の考えです。



菅木 章弘 議員

荒廃地

農地整備事業の進捗は 要件に該当するか調査中／町長

問

本村地区水田基盤事業について、6月議会で質問して以来6ヶ月経過した。その後の進捗状況は。

答

県との協議及び農地中間管理機構への確認の結果、農地中間管理権の設定には、整備予定の全ての土地が農業振興地域整備計画の農用地区域に設定されていることと、農業委員会が管理する農地台帳に登録されている事が必要であると確認されました。このことを受け、現在産業振興課でその要件に該当するかどうかを一筆一筆確認作業をしているところです。

問

その筆数と集計の期間は。

答

最終集計は出来ていませんが、約90筆ほどと思われます。年内には確認作業を完了したいと考えています。



30年ほど耕作されていない圃場

国道321号歩道

歩道工事の進捗は

一部は交渉完了／町長



拡張が待たれる国道

問

321号線の歩道工事進捗状況は。

答

現在未改良の4工区のうち、泊浦分岐点付近の工区については、一部用地交渉がまとまり、本年度用地買収が完了し、来年度から改良工事を実施する予定となっています。

また、JA高知県大月出張所から、大月ハイヤー付近については一部用地交渉がまとまっています。他の2工区については関係者との協議を進めていきます。

分岐点付近の工区については、一部用地交渉がまとまり、本年度用地買収が完了し、来年度から改良工事を実施する予定となっています。

命を守る

AEDの設置は 必要なところは再度検討／町長



新谷 伸 議員



庁舎内AED

問 町のホームページでは、設置は民間も含め29か所になっているが、法的に義務はないが町としての設置基準はあるのか。

答 町が設置しているものは15か所となっています。町としての設置基準は現在定めていません。不特定多数が集まる公共施設や観光施設、高齢者が多く利用する福祉施設、介護施設などの誰でもすぐわかる場所にわかりやすい表示をするな

どして、職員などへの救命講習なども行っていくことも重要であると考えています。

問 現在設置していない地区に設置する考えは。

答 必要などころは再度検討して設置する形で取り組んでいきたいと考えています。

問 日常点検はどのようにしているか。

答 日常点検は、機種により多少異なる

りますが職員による目視や契約会社のリモートによる点検をし、消耗品も交換時期に契約会社から郵送されており、その都度職員がカバーを開け交換してその際も異常がないか確認をしています。

問 プライバシー保護とか応急手当に使える三角巾の追加の考えは。

答 AEDを使用する際、女性に対して電極パッドを貼り付ける場合に、肌を露出してしまうため救命措置をする側も躊躇してしまうことで、女性へ使用されるケースが低いと言われていました。三角巾は手軽に準備できるものである上、様々な活用もできるので、設置にむけ検討していきたいと考えています。

福祉

授乳室の設置は

設置を検討したい／町長

問 幡多管内の道の駅には、授乳室が少ないと認識している。

方向で検討したいと考えています。

答 本町の道の駅には授乳室は設置されていません。道の駅には小さなお子様連れも多く訪れることから、リニューアルに合わせて設置する

問 庁舎内での授乳場所は。

庁舎1階女子用トイレの手洗い場奥に、使用される方が見えないうちにカーテンで仕切られたスペースに、おむつ交換台と授乳用ベンチを設置しています。



リニューアルを待つ道の駅



安岡 利治 議員

産業振興

新たな集落営農組織の設立は 地区に出向いて進めていきたい／町長

問

農業に興味がある協力隊の募集等により、集落営農に従事できる人材確保への協力体制は取れないか。

答

森の里とも協議を行い、担当課とも相談しながら、雇用形態や協力隊のあり方、そのミッション、卒業後の関係性等、森の里との綿密な協議の場を設けたいと考えています。

問

有害鳥獣対策としての地区内に金網の包囲網を設置しているが、経年による老朽化と鳥獣密度の増加により、作物への被害は深刻な状況にある。こうした現状への対応は、どうした現状への対応は、

答

防護柵設置後の管理や修繕等についても地区で行っていただく必要があります。これまで、県がJAに配置している鳥獣被

害対策専門員からの指導を受け、被害の多い付近に監視カメラの設置や、狩猟免許を持つている組合員で罾や捕獲檻の設置等、鳥獣対策を関係機関と共に実施予定です。

問

春遠地区以外で組織の設立への取り組みの考えはないか。

答

今後本町での農業の維持を図るためには、農業経営の組織化・法人化を促進していく必要があると考えています。もう1か所くらいは欲しいので、可能な地区に出向いて進めていきたいと考えています。

防災対策

消防団員の確保は 年々厳しい状況／町長

問

本町における消防団員の定数及び、現団員数は。

答

大月町消防団員の定数は、253人、条例に規定されています。現団員数は、227人（女性7人）です。

問

消防団員確保のための募集活動は、

答

県消防協会の補助事業を活用し、募集のポスター・チラシ等を作成し公共施設



持続可能な農業を

や各地区へ配布・掲示を行っています。また、不定期での広報による募集や、18部の分団長・副分団長を中心に、人材の発掘を行い柔軟な確保体制として取り組んでいます。また、団員の確保は年々厳しい状況です。

です。

問

各消防団の消防活動に必要な防火水槽の設置状況、防火水槽等の恒常的な点検はされているか。

答

防火水槽は、町内各地区に20トン用53基、40トン用7基、計60基の設置です。消火栓は、地上式24個、地下式141個の計165個を設置しています。点検等につきまし

地域防災の拠点



では、消防大月分署職員が各地区に点検に回り、外観や水圧のチェック、非常時の活動に支障が無い点検を行い、各消防団と共有しています。



大月町農漁村女性改善グループのみなさん

メンバー紹介

まずはメンバーを紹介します。大月町農漁村女性改善グループは、柏島城下町グループ、姫ノ井女性改善グループ、亀尾はちきんグループで結成しています。

普段は各地域で活動し、産業祭の時は伝統料理伝承のために集まりボランティア事業をしてみました。

重い空気

毎年のように産業祭が近づくと、何か重い空気に包まれ大変でした。それは、料理の提案から買い物下準備。当日は朝2〜3時より調理。本番開始と同時にお客様に提供しなければならぬからです。

なぜ続けてこられたのか

でも、楽しかった。山と海の食の違いにびつくりしたり、皆とわいわい何を作るか話し合いながら駆け抜けてきたりした日々が、大変以上に楽しさの方が上回っていたからです。

今年で最後

最後の伝統料理提供を終え、ほっとしたようなさみしいような感情がわいてきました。30年間本当にがんばりました。

人生の宝

私たちの作った料理に行列ができ、一口食べてはおいしいと言ってくれた事が一番の宝です。

このグループに出会えてよかった。人生においての宝になりました。終了しても年に一度は会いましょう。この絆は、消えることはないでしょう。おつかれ様でした。

(取材 松田照代)



大月町農漁村女性改善グループを育ててくれた産業祭

編集後記

新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。昨年はこの議会だより、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。編集委員も皆様に読んでいただける「議会だより」をめざし、幾度となく会をかさね取り組んでいるところです。そしてまた、それぞれの委員会とも共有しながら、読みやすく、分かりやすく、町民のことを第一に考えた取り組みを行っています。

皆様と共に考え意見を伺い、より一層読んでいただける「議会だより」を目指します。

(依岡一生)

編集委員

委員長	浦木 秀雄
副委員長	依岡 一生
委員	米谷 勝市
	笹木 章弘
	松田 照代